

おかざき 議会だより

令和5年11月1日発行

vol.
219
2023

9月
定例会

令和4年度の決算を認定 未来を担う高校生と意見交換会を実施！



- P02 一般質問
- P09 高校生との意見交換会
- P10 主な議案
- P11 委員会審査
- P12 令和4年度決算審査
- P14 討論
- P15 審議結果
- P16 12月定例会予定 他

更に詳しい情報は
岡崎市議会HPへ



一般質問

9月定例会では、26人の議員が市政について質問しました。なお、本紙では、太字の質問項目から掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

一般質問の掲載原稿は、発言に基づき質問議員が作成しています。

前田 麗子（自民清風会）

・ 介護保険認定

・ 介護予防

青山 晃子（チャレンジ岡崎）

・ こどもに関する施策

・ 共助

鈴木 雅子（無所属・日本共産党岡崎市議団）

・ 地域包括ケア計画（高齢者福祉計画）

・ 画・介護保険事業計画

・ 地球温暖化対策

廣重 敦（自民清風会）

・ ホテル誘致

・ 感性を育む教育

野々山 雄一郎（自民清風会）

・ 本市の市民参加型スポーツ

・ 本市の業務システムの構築

土谷 直樹（公明党）

・ 令和5年6月2日からの大雨

・ 要介護認定

酒井 正一（自民清風会）

・ アウトレットを核としたまちづくり

り

・ 認知症に対する施策

原 紀彦（民政クラブ）

・ 熱中症対策

柳 賢一（無所属）

・ 里親制度

加藤 嘉哉（民政クラブ）

・ 安定した公共サービスの提供に向けた職員の人材確保

中根 善明（無所属・日本共産党岡崎市議団）

・ 公共交通

・ 災害時の避難

・ 花火大会

原田 範次（自民清風会）

・ 水害時の避難所

・ 市民病院の診療方針

小田 高之（チャレンジ岡崎）

・ 子ども・若者の抱える課題の複合性・複雑性を踏まえた重層的な支援の充実

・ おかざきDXビジョン

・ 食品営業許可証

・ 防災対策

・ 旧額田郡公会堂及物産陳列所

田口 正夫（無所属）

・ 子育て支援

・ 1級河川鹿乗川の整備

・ 国道1号

近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

・ 大河ドラマ関連事業

・ ゼロカーボンに向けた取組

野島 さつき（公明党）

・ HPVワクチン

・ 子育て支援の充実

野本 篤（自民清風会）

・ 愛護動物の適正飼養

・ サークュラーエコノミー

・ 自治体交流

三塩 菜摘（無所属）

・ 孤独・孤立対策

荻野 秀範（自民清風会）

・ 特色ある幼児教育

・ 文化財の保護

畑尻 宣長（公明党）

・ 防災

・ ごみステーション・リサイクルステーション

磯部 亮次（自民清風会）

・ 東岡崎駅の整備

・ えびすくい音頭

井村 伸幸（民政クラブ）

・ サニタリーボックスの設置

・ 障がい者（児）支援

・ こども誰でも通園制度（仮称）

加藤 義幸（自民清風会）

・ 岡崎公園

・ 岡崎版図柄入りナンバープレート

・ 子どもが集える公園

・ 交通安全対策

小木曾 智洋（自民清風会）

・ 都市計画道路岡崎環状線

・ 阿知和地区工業団地

築瀬 太（自民清風会）

・ 都市間協定による人材の確保・育成





介護保険認定

前田 麗子 (自民清風会)

問 介護認定の遅れにより、利用者へのサービスやケアマネジャーの業務に影響が出ているが、遅れに対する取り組みや、今後の対策について、本市の見解は。

答 現状の市調査員及び委託先調査員の体制では、認定遅れの改善を早急に行うことは困難であるため、令和4年度末で終了することとしていた「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的な取扱い」を、新型コロナウイルス感染症の増加に鑑み、再開することとした。この措置により、5年9月から6年2月までの更新申請が、月平均で約300件、6カ月で約1800件減少する見込みとなり、6年3月頃までには、認定の有効期間内に認定結果が出るようになるの見込みである。また、6年度の調査実施体制を万全にするため、調査員募集の周知方法を強化し、市調査員の確保に努めていく。



(1) 自主避難所
(2) つながり支援

青山 晃子 (チャレンジ岡崎)

問 (1) 分散避難先として任意の自主避難所を各自で想定し設置することで、自助として災害への備えを行う市民の増加につながると考えるが、その場合の課題は。

答 自主避難所を運営する場合、適切な場所の選定、運営方法等の設定、人材の確保が必要となる。市として、その存在と個々の状況把握のほか、情報の伝達や支援物資の提供など、必要な連携体制の構築に努めていきたい。

問 (2) 日頃から防災に関心がある機会をつくることは可能か。

答 今年度、本市は国の避難所一研修のモデル事業開催自治体に選定されている。ボランティア人材や、要配慮者を支援するNPOなどの発掘に注力するとともに、各分野で活動する人材が、発災時に連携して活動できる機会の創出についても研究していく。



(1) 地球温暖化対策
(2) 体育館のエアコン

鈴木 雅子 (無所属 日本共産党 岡崎市議団)

問 (1) 補助額5万円の断熱窓リフォーム助成について、太陽光発電システムとの同時設置が条件であるが、断熱窓単独の補助を検討する考えは。

答 重点対策加速化事業では、断熱改修単独でも補助が可能であるため制度化を検討していく。

問 省エネ改修、介護改修、通常の改修を合わせたリフォーム助成制度を実施すべきと考えるが、見解は。

答 リフォームが契機となり、複数の課題が解決できることは非常に望ましい。関係部署との連携強化を図っていく。

問 (2) 子どもの熱中症対策として、体育館へのエアコン設置についての現状は。

答 他市への事例調査等により、大きな空間を有する学校体育館への冷房効果を確認した。今後にも空調方式、断熱対策、財源確保などについて検討を深めていく。



(1) ホテル誘致
(2) 感性を育む教育

廣重 敦 (自民清風会)

問 (1) コロナ禍以降、ホテル誘致は難しいと聞くが、ミシュランガイド認定の星付きホテル若しくは外資系シティホテルの本市への誘致の可能性は。

答 大河ドラマを契機に歴史観光が盛り上がっている。リピーター獲得や海外からの誘客促進に加え、世界ラリー選手権を始めとするスポーツツーリズムや学会等の開催を生かし、これらの誘客の受け皿となるホテル誘致について検討すべきと考えている。

問 (2) タブレットを手にデジタルを活用することで探求心や想像力を養う小中学校の新たな取り組みは。

答 音楽の授業では、楽譜制作アプリ等を活用することで、自ら作った音楽を記録し、再現することが可能となった。表現する手段を手にしたこと、想像力を膨らませ、探求心を持つ感性を磨く姿が見られるようになった。



(1) 市民参加型スポーツ
(2) 業務システムの構築
野々山 雄一郎 (自民清風会)

問 (1)パリオリンピック等では本市ゆかりのアスリートの活躍も期待される。市民参加型の壮行会やパブリックビューイング開催の考えは。

答 市民参加型の観戦イベント等の開催で市民が一体となり応援する機運を醸成することは大切と考えており、本市ゆかりの選手が出場する場合はそれらの開催を検討したい。

問 (2)庁内の業務システム改修委託料の抑制や今後も進む行政のデジタル化に対応するため、情報システムのスぺシャリストを技術職として積極的に採用する必要があると考えるが、見解は。

答 現在、外部民間人材を非常勤特別職として登用しているが、情報システム分野に限定した職員として採用はしていない。今後、先行している他自治体の採用事例等を研究し、より効果的・効率的な職員の養成に努めていく。



6月2日からの大雨
土谷 直樹 (公明党)

問 市が任用する気象防災アドバイザーからの情報を、どう活用したのか。

答 事前情報を活用して備えを進め、災害対策本部の設置へつなげた。

問 情報収集や被害状況把握の課題と対策は。

答 災害対策本部には多数の情報が一気に寄せられるが、同一の案件についても情報が断片的に提供され、全体をつなぎ合わせることができず、想定よりも大きな被害となる場合がある。現在、災害対策本部体制の見直しを進めており、情報分析を専門に担うグループの新設を目指している。

問 災害ボランティア支援センター開設時の課題と対策は。

答 大規模災害では活動内容、ニーズ把握やマッチングが複雑になる。現地調査の方法やボランティア派遣の優先度の考えなどを検討していく。



(1) アウトレットを核としたまちづくり
(2) 認知症施策
酒井 正一 (自民清風会)

問 (1)施設周辺の雨水対策は。

答 県の土地区画整理事業の基準に基づき、「広域観光交流拠点」では3カ所、合計で約1万2000立方メートルの調整池を、駐車場の地下に設置する計画である。名鉄本宿駅に隣接する「地域拠点」では、従来では上面がオープン式の調整池であるが、発起人会及び事業化検討パートナーとともに景観に配慮したまちづくりができるよう設置方法の検討を進める。

問 (2)今後の認知症施策の考えは。

答 認知症サポーターを養成し、地域包括支援センターや認知症カフェ等のボランティアと、サポーターが連携して認知症本人の支援などの活動を推進していく。また、広く認知症について正しい知識の啓発を行うなどして、認知症本人とその家族が、安心して住み慣れた場所で暮らせるよう地域とともに取り組んでいく。



熱中症対策
原 紀彦 (民政クラブ)

問 他市では熱中症対策として、無料の給水スポットが増えている。本市公共施設の充足状況は。

答 クールシェアおかざき2023で指定した公共施設15施設のうち、げんき館に無料給水設備(ウォーターサーバー)がある。水分補給は大切であるため、令和6年度以降、給水スポットの指定も検討していく。

問 学校体育館への空調機設置についての考えは。

答 近年の地球温暖化に伴い、最高気温35度以上の猛暑日も増加傾向にある中、子どもたちの教育や健康を守るため、学校体育館への空調機設置の必要性は高まってきていると認識している。近年の異常な暑さを踏まえ、先進他市の設置状況も参考にしながら、効果的かつ効果的で、実現可能な設置方法について、継続的に検討を深めていきたいと考えている。



里親制度

柳賢一（無所属）

問 本市の里親の現状は。

答 令和4年度末の里親登録数は73世帯で、名古屋市を除き県内で最も多い。

問 本市の乳児院・児童養護施設の現状は。

答 8月末時点で、乳児院は1施設で定員19人に対して17人が、児童養護施設は2施設あり、合わせて定員93人に対して86人が入所している。

問 家庭的養護の偏見などへの対応は。

答 子どもに携わる職種の方に、里親制度が正しく伝わっていない場合もあり、昨年度里親家庭の子どもの声を受け、学校の先生向けにリーフレットを作成した。

問 制度普及への取り組みは。

答 今年度から親の入院や育児疲れの軽減を図るため、短期間の養育を委託するショートステイ里親を開始している。併せて制度の普及啓発に努めていく。



安定した公共サービスの提供に向けた職員の人材確保

加藤 嘉哉（民政クラブ）

問 今年度より定年の引き上げが順次行われ、しばらくは2年に1度しか退職者がいない状況となる。それを踏まえた新規採用者数の平準化、職員の増員に対する本市の考えは。

答 定年の引き上げに合わせて極端な採用抑制を行うと、新規採用者数が年度によって大幅に変動することとなり、職員の経験年数や年齢構成に隔たりが生じる恐れがある。将来にわたり必要なサービスを安定的に提供できる体制を確保するためには、単年度ではなく、複数年度間における新規採用者数の平準化や職員の年齢構成、退職者数の見込みを踏まえた中長期的な観点からの採用が必要である。そのため、現行の定員適正化計画の期間中は、これまで通り60歳に到達し、役職定年等へ移行する職員や、普通退職を見込んだ人数を採用していく予定である。



公共交通（矢作デマンド）

中根 善明（無所属 日本共産党 岡崎市議団）

問 現在の矢作デマンドに見られる地域公共交通の課題は。

答 現在利用者は、事前に名前や連絡先を登録し、利用時には矢作デマンドの予約が必要となることから、その手間が掛かることになる。また、駅への乗り入れについても、今後の課題である。

問 5月1日時点の会員登録者数が1704人、利用者数が増加していない。その原因は。

答 矢作デマンドの存在が知られていない、または、知った上で、今はまだ必要ないので登録していない人もいると考えている。

問 矢作地域として、デマンド型ではなく、他の方法を選択した場合、選択した手段で実証実験を行うと考えてよいか。

答 実証運行により、より良い交通が見えてきた場合は、更なる実証を行うことも選択肢の一つであると考えている。



矢作川氾濫時の浸水想定

原田 範次（自民清風会）

問 矢作川が、想定される最大規模で氾濫をした場合、矢作北学区内において予想される浸水深は何メートルになるか。

答 矢作北学区では、区域の大半が3メートルから5メートル未満、または5メートルから10メートル未満の浸水深となると予想している。

問 地域住民へ災害リスクを啓発していくことは必要であると考えられる。公共施設などに、予想される浸水深を、マーカー等で表示することはできないか。

答 洪水による浸水リスクに関する情報を、地域における生活空間の中で、自然と目に入れてもらえるような状況にすることは、日頃から水防災の意識を高めることに関しても効果的な取り組みであると考えている。表示する情報や方法について、関係部署や施設管理者などと協議し、検討していきたい。

※矢作デマンド：矢作地域における会員登録制の予約型乗合タクシーのこと。複数の利用者の予約状況を合わせ、乗り合いで目的の停留所まで運行する。



食品営業許可証の
デザインの多様化
小田 高之（チャレンジ岡崎）

問 食品営業許可証は、定めた記載事項を店の見やすい場所に提示することとされているが、

その用紙デザインについては決ま
りがない。そこで、店の雰囲気な
どにマッチするよう、複数のデザ
インの中から業者が選択できる
ようにしてはどうかと考えるが、
市の考えは。

答 本市では、一目見て市の許
可証と認識されるよう、保健
所を設置した平成15年以降、岡崎
城を背景とした単一デザインの食
品営業許可証を交付している。
時代は変わり、現在は物事が多
様化の流れとなつている。食品営
業許可証についても、デザインの
バリエーションを増やすことで、
業者のニーズに幅広く対応でき
るよう、現状のデザインを含め、
複数のデザインの中から事業者が
選択できる方法の検討を始めたい
と考えている。



旧額田郡公会堂及
物産陳列所
柴田 敏光（民政クラブ）

問 老朽化により閉館した「旧額田郡公会堂及物産陳列所」

の施設の重要性と現状は。

答 我が国において初期に建築
された郡の公会堂及び物産陳
列所であり、二つの建造物が一組
で現存する数少ない貴重な例とし
て、国の重要文化財に指定されて
いる。現状としては、耐震性能の
不足等、早急に保存修理に着手す
る必要がある。

問 保存修理の費用は。

答 概算工費は、耐震補強工
事や活用のための設備整備費
用を除き、約12億円となる。保存
修理費用は国の補助金対象となる
ため、文化庁と協議を進めていく。

問 保存修理計画は。

答 今年度、旧看守人室の曳家
及び保存修理の実施設計を行
い、令和6年度、工事を行う予定
である。文化庁との協議後、国へ
の補助要望を行い、保存修理工事
に着手していきたい。



1級河川鹿乗川の整備
田口 正夫（無所属）

問 鹿乗川の上流支川の改修に
ついて、現在の進捗状況と今
後の予定は。

答 鹿乗川の上流支川である北
本市で進めている。北本郷支川は、
4年度の国の補正予算の対象事業
として、測量や地質調査などの実
施設計業務を行い、早ければ7年
度から工事に着手する予定である。
赤池支川は、北本郷支川の改修後
に、工事に着手する予定であるが、
国道1号や名鉄名古屋本線との交
差部の改修工事は難易度が非常に
高く、更に関係機関との協議には
多くの時間を要することが想定さ
れる。そのため、北本郷支川の改
修事業と並行して赤池支川の検討
業務を進めていく予定である。両
支川の完成までにはまだまだ時間
がかかるが、地域の皆様が安心し
て過ごせるよう、県と連携し、確
実に事業を進めていく。



大河ドラマ「どうする家康」
放送終了後の活用
近藤 敏浩（チャレンジ岡崎）

問 大河ドラマで家康公が取り
上げられたことにより、他の
メディアでも事細かにエピソード
が取り上げられ、偉業をたたえ、
人物を好意的に紹介し、ゆかりの
観光が紹介されている。これらは、
大河ドラマが本市に残してくれた
大いなるレガシー（遺産）として、
今後も大いに活用されるべきと考
えるが、本市の見解は。

答 家康公生誕の地という唯一
無二の価値を、引き続きフル
活用した観光を推進していく。併
せて、ドラマでクロージアアップさ
れた岡崎時代の若き家康公の苦難
と成長の軌跡を本市の新しい歴史
観光の一つの柱として大切にして
いく。更に、ドラマに登場した家
康公の家族や家臣などに着目し、
市内各地域を巡る新たな周遊ルー
トを考案しつつ、全国の観光客を
繰り返し迎えらるる環境を整えて
いく。

※旧額田郡公会堂及物産陳列所：朝日町3丁目（せきれいホール南）に建てられている歴史的建造物



(1)HPVワクチン
(2)子育て支援の充実
野島 さつき (公明党)

問 HPV^{※1}感染の予防やパートナーへの感染防止になるなど、意義は高いと考える。接種費用の助成について、本市の考えは。

答 効果が期待される肛門がんは希少がんであること等に鑑み、助成の必要性は相対的に低いと考える。国の動向を注視したい。

問 (2)訪問型支援を受けるのは敷居が高く利用をためらうという声も聞く。お試し券の配付や「プレママ・ベビーケア応援事業」の経済的支援の一部を、利用券などで配付できないか。

答 国からは利用券やクーポン等の交付が推奨されている。今後、広域的なシステムが構築されるなど対象家庭の利便性が確保できれば、クーポン等の配付を検討していく。なお、最近はお産や子育てへ不安感を持つ人も多いため、お試し利用の方法についても研究していきたい。



サーキュラーエコノミー
野本 篤 (自民清風会)

問 廃棄物を発生させない循環型の経済活動が必要である。廃棄物行政の取り組みや考え方について、本市の見解は。

答 高度なリサイクルを実践するため、使用済みのペットボトルを原料として再びペットボトルにする「ボトルtoボトル」の取り組みに向けて検討を進めている。本市としても、循環型経済の確立により経済成長を目指すというサーキュラーエコノミー^{※2}の理念に沿って、製造業等とリサイクル業の融合を図る必要があることから、産業界と連携し、新たなビジネスモデルの確立を促進させ、循環経済の促進を担う人材育成に取り組んでいきたい。なお、現在のリサイクル技術等を勘案すると、ペットボトルの水平リサイクルやプラスチック類・紙類のリサイクル等について、本市でも同理念の取り組みを実現できるのではないかと考えている。



孤独・孤立対策
三塩 菜摘 (無所属)

問 本市独自の孤独・孤立支援ポータルサイト「つなぎめ」の概要は。

答 孤独・孤立を感じ、生きづらさに悩む人を支援するためのポータルサイトである。市ホームページのトップページからアクセスでき、官民や分野・属性の区別のない相談先や社会参加につながるインフォーマルサービスなどの支援情報も掲載している。

問 地域福祉センターは本年4月から高齢者以外にも利用が可能となったが、利用状況は。

答 子どもや若い世代が、囲碁や将棋などをしたり、ロビーで自由に過ごしたりすることが可能となった。各館にキッズスペースを設置したことで、小さな子ども連れの利用者や、勉強する中学生の姿も見られる。コロナ禍により減少した利用状況も戻ってきており、地域の居場所として多世代が利用できるよう努めていく。



特色ある幼児教育
荻野 秀範 (自民清風会)

問 本市では令和5年8月14日に「こどもまんなか応援サポーター」となることを宣言した。今後、「こどもまんなか」の保育行政を進めるためにも、休園中の公立保育園の活用も含め、特色のある幼児教育を進めるべきと考えが、本市の考えは。

答 現在休園中の保育施設を自活動団体などが活動する場として貸し出すことは、施設の活用方法の一つであるが、その場合のスキームづくり等を検討する必要があると考えている。また、特色ある幼児教育を進めるために、公立保育園として同質的・均一的な保育サービスの提供を前提としながらも、各園の立地による地域性を生かした工夫は、当然行われるべきである。自然豊かな地域における、環境を十分に生かした保育や教育の提供は、やらなければならぬことであると考えている。

※1 HPV(ヒトパピローウイルス)：子宮頸がんをはじめ、肛門がん、膣がんなどのがんや多くの病気の発生に関わるウイルス
※2 サーキュラーエコノミー(循環経済)：従来の3Rの取り組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動



(1) 地区防災計画
(2) ごみステーション
畑尻 宣長 (公明党)

問 (1) 高齢者や体が不自由な人を、自宅から避難先へと促すため、まずは一時的に近隣の施設に集まるようにすることは、地域住民との話し合いの下、進めていくべきと考えるが、見解は。

答 今後、各地域で作成される個別避難計画を踏まえ、災害弱者には当たらないが何らかの支援が必要な人々のために、地区集会施設などを一時的な集合場所として活用するといった、地域での共助に対し、市としても必要な協力をしていきたい。

問 (2) 回収箱の設置に対し補助が必要と考えるが、見解は。

答 回収箱設置への直接的な支援ではなく、町内会の活動に対して支援している「ごみ減量・リサイクル活動報償金制度」について、町内会間での不公平を生じないように、それぞれの実情に合わせて臨機応変に活用できるように見直しを検討していきたい。



えびすくい音頭
磯部 亮次 (自民清風会)

問 市民の手作りによるえびすくい音頭は、大河ドラマのレガシー(遺産)である。市全域に広がるように、竹千代音頭などと一緒に本市推奨の踊りとして認定するなど、市民に愛着を持ってもらえるようにする考えは。

答 この唄と踊りは、平和を祈願するものと実感しており、家康行列を始め多くのイベントで踊りの機会を提供していく。新たな武将の歌詞の追加も練られており、地元ゆかりの武将を再認識するきっかけになるよう盛り上げていきたい。この踊りを通して笑顔で生き生きと暮らす市民の姿を発信することで、本市へ行きたいと思ってもらえることこそが観光の神髄であり、その役割を担う無限の魅力と可能性を感じている。えびすくい音頭を「(仮称)無形観光伝統文化財」などとして位置付けできれば、新たな観光の起爆剤になると考えており期待している。



災害時における障がい者(児)支援
井村 伸幸 (民政クラブ)

問 障がい者が避難所生活を送る際、支援を必要とする人がバンドナをつけ、必要な配慮が周囲に分かるようにしたり、支援できる人もバンドナをつけ、気軽に声をかけてもらうようにしたりする工夫も必要と考えるが、見解は。

答 いざというときに必要な支援や配慮を周囲にお願いする際の意思表示となるヘルプマークやヘルプカードを配布している。平常時だけでなく災害時にも見やすい箇所に携帯してもらうことで迅速な対応ができるよう、活用の促進に努めている。提案のあった障がい者支援用バンドナは大きさや色などが工夫されており、一目で対象者が確認できること、支援を必要とする側も相手方が分かりやすいなど、ヘルプカードにはない利点も多い。今後、他市町村の動向や、障がい者関係団体等の意見を聞き、災害時の支援につながる方法を検討していく。



子どもが集える公園
加藤 義幸 (自民清風会)

問 市内には、雑草が生い茂り子どもたちが遊べなくなっている市管理の公園が複数存在している。草の根絶除草や土壌改良などの対策はできないか。また、地元住民による管理協力をする場合の市の支援策は。

答 市の委託発注において草刈りの回数を増やすことや、手作業の抜根除草や土の入れ替えも解決方法の一つだが、地元住民による活発な公園利用により、草が育ちにくい環境に改善されることを期待している。市内には、地元住民とNPO法人等と一緒に活動する公園愛護運営会が、自主的な草取りや清掃など公園の美化活動を行っている地域もある。今後、公園愛護運営会の設立に向けた地域活動をサポートしていく。



雑草が生えた公園の様子



都市計画道路岡崎環状線
(明大寺地区未整備区間)
小木曾 智洋 (自民清風会)

問 平成30年12月定例会で、岡崎環状線の本線が、都市計画道路岡崎西尾線の上空を通過する

立体交差から、平面交差へと都市計画を見直すとの答弁があったが、現在の状況は。

答 都市計画変更に伴う公安委員会との事前協議において、

平面交差は、安全面で認められなかったため、元の計画である立体交差の計画に戻っている。

問 全線供用開始により多くの効果が期待できるが、今後の整備の進め方は。

答 国が令和6年度頃から着手予定である国道1号交差付近での電線共同溝整備を機に、交差点改良を委託事業として進めてもらえるよう国と調整していく。交差点改良を皮切りに、1期工事の乙川橋梁と岡崎西尾線に接続するランプ道を整備して、部分供用させるとともに、引き続き、2期工事に着手する予定である。



都市間協定による
人材の確保・育成
築瀬 太 (自民清風会)

問 親善都市提携を生かし、市立看護専門学校の見直しの中で石垣市の看護師養成の一端を担うことはできないか。

答 親善都市提携を基に、市立看護専門学校の学校推薦入学試験の推薦枠に、石垣市の高校を加えるなどの方法が考えられる。

問 教育分野でも同様に、市内の取り組みを広げていくことはできないか。

答 教育分野での交流は、石垣市においては大学生確保や就労人口の確保という点で、双方の自治体のメリットにもなり、親善都市宣言の趣旨にも合致する。市としても各大学に積極的に声掛けしていきたい。また、石垣市だけでなく、他の親善都市、ゆかりのまちなどとお互いに助け合っていくことは重要なことだと考えている。

市においては大学生確保や就労人口の確保という点で、双方の自治体のメリットにもなり、親善都市宣言の趣旨にも合致する。市としても各大学に積極的に声掛けしていきたい。また、石垣市だけでなく、他の親善都市、ゆかりのまちなどとお互いに助け合っていくことは重要なことだと考えている。

おかざき未来“夢”プロジェクト 高校生と市議会議員の意見交換会 ～人間環境大学附属岡崎高等学校 編～

未来を担う高校生に議会や市議会議員を身近に感じてもらうため、7月28日(金)に、人間環境大学附属岡崎高等学校の生徒の皆さんと意見交換会を行いました。本市議会では、平成30年度から市内の大学と連携し、大学生との意見交換会を4回実施してきており、高校生との意見交換会は今回が初めての試みでしたが、高校生ならではの視点から意見を聞くことができる貴重な機会となりました。



学校紹介

生徒会会長・副会長さんが、行事や部活動、特色ある取り組みについて、議場で発表を行いました。

意見交換

高校生5～6人と市議会議員2人が一つのグループとなり、高校生から寄せられた興味・関心が高い「環境&道の整備」「観光スポット&環境」「教育&お金」「バス&道&地図」の四つのテーマについて話し合いました。

発表

意見交換会の結果をまとめ、生徒の皆さんが発表を行いました。

生徒の感想

- ・議員は真面目で堅いイメージだったがフレンドリーに接してくれて意見も出しやすかった。
- ・高校生でも政治参加する方法はたくさんあることを知れた。
- ・夢を実現させるためのプロセスを具体的にどう踏めばいいのか、考えるきっかけとなった。



主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、15ページに掲載しています。

条例議案

■印鑑登録条例の一部改正／電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の一部改正に伴い、移動端末設備に搭載された利用者証明用電子証明書を利用して多機能端末機による印鑑登録証明書の交付を受けることができるようにする。

■わんパーク条例の一部改正／中山間地域の活性化及び地域内の経済循環の拡大を図るため、わんパークの利用時間を延長するとともに、わんパーク内に新設されるワークスペースの利用等をする場合の承認及び使用料の徴収について規定を定める。

■火災予防条例の一部改正／対象火気設備等の位置、構造及び管

理並びに対象火気器具等の取扱
いに関する条例の制定に関する
基準を定める省令の一部改正に
伴い、蓄電池設備及び固体燃料
を使用する火気設備等について
基準の見直しを行う。

その他議案

■工事請負の契約（仮称）市営大樹寺住宅新築給排水衛生ガス設備工事他4件／（仮称）市営大樹寺住宅新築給排水衛生ガス設備工事（第1工区）、（仮称）市営大樹寺住宅新築工事（第1工区）、（仮称）市営大樹寺住宅新築電気設備工事（第1工区）、甲山中学校南棟大規模改修工事及び大樹寺小学校中棟大規模改修工事の契約を行う。

■特定事業の契約の変更／（仮称）西部学校給食センター整備事業の契約（令和4年6月22日議決）を変更する。

補正予算議案

■一般会計補正予算（第5号）

○総務費／政策企画推進支援委託料、施設解体工事請負費（おかげぎ乙川リバーフロント交流拠点整備事業）、デジタル活用地域社会推進委託料など約2億209万円の増

○民生費／障がい者タクシー料金助成費、地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費補助金、高齢者福祉施設等整備事業補助事業費、後期高齢者医療療養給付費負担金、小規模保育改修費等補助金など約3億6358万円の増

○衛生費／新型コロナウイルス感染症健康管理等派遣手数料、新型コロナウイルス感染症行政検査委託料、健康フォローアップセンター運営委託料、新型コロナウイルス感染症自宅療養者等医療提供事業交付金など約12億8915万円の減

○農林業費／おかげぎ農業応援プロジェクト推進事業費など約5億6723万円の増

○土木費／自転車乗車用ヘルメツ

ト着用促進事業費補助金、公共交通インフラ運行維持支援金、岡崎中央総合公園整備工事請負費など約1億2208万円の増

○教育費／小中学生等保護者物価高騰対策給付金給付事業費、国際スポーツ大会等推進委員会負担金など約3億2785万円の増

■一般会計補正予算（第7号）

○商工費／大河ドラマ活用委託料に対し2100万円の増

令和5年度9月補正予算

(単位:万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	13,731,365	39,869	13,771,234
特別会計	7,135,359	72,492	7,207,851
企業会計	6,170,496	0	6,170,496
合計	27,037,220	112,361	27,149,581

委員会審査

常任委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

総務企画委員会

印鑑登録条例の一部改正

問 条例改正の概要とサービス開始後の個人情報保護対策は。

答 スマートフォンに搭載された利用者証明用電子証明書の利用し、新たに印鑑登録証明書のコンビニ交付のサービスが年内開始の予定で受けられるようになる。個人情報保護を保護する対策として、各種行政手続きのオンライン申請には、暗証番号または生体認証を必要とする。また、暗証番号の入力を一定回数以上間違えるとロックされ、不正に情報を読み出そうとすると、自動的に電子証明書などの記録情報を消去する機能が内蔵されており、高度に個人情報保護されている。

予算決算委員会 福祉病院分科会

一般会計補正予算（第5号） 衛生費

問 令和5年秋開始のワクチン接種の概要は。

答 今回の接種は5年9月20日から6年3月31日までに、現在の主流株であるオミクロンXB・1・5に対応した1価ワクチンを接種するものである。初回接種を完了した生後6カ月以上の全ての人を対象となり、接種費用は無料である。本市の想定被接種者を11万人程度と見込んでおり、ワクチンの確保を進めるとともに、順次接種券を発送し、適切に接種が進むよう案内をしている。今後、初回接種から2年以上が経過していても接種対象者であることや、接種できるワクチンが現在の流行株対応のものに変わっていることなど、市政だよりやSNS等で周知するとともに、様々な疑問に対しコールセンター等で対応していく予定である。

文教経済委員会

わんパーク条例の一部改正

問 条例改正の理由及び目的と、ワークスペースの製作に至った経緯は。

答 4年3月定例会で、広く市民や企業による施設利用に供することで、都市部と中山間地域の交流を促進し、中山間地域の活性化及び地域内の経済循環の拡大を図ることを施設の目的に加えた。今回の改正は、新たに整備したワークスペースの利用等に関する事項について定め、施設利用時間を拡充させるものである。コロナ禍により、テレワークの推進など企業での働き方が見直されており、アフターコロナの取り組みの一つとして、ワーケーションが注目されている。本市でも、都市部の住民を中山間地域に呼び込み、関係人口の創出及び移住促進、林業6次産業化に寄与するため、木材の活用を図ることを目的に、ワークスペースの製作を行った。

建設環境委員会

工事請負の契約（仮称）市営大樹寺住宅新築工事（第1工区）

問 事業内容及び工事中の安全対策は。

答 本事業は、昭和48年及び49年度に建設された鉄筋コンクリート造5階建て6棟200戸を、鉄筋コンクリート造9階建て2棟と5階建て2棟の計4棟200戸とする計画で、令和5年度から7年度にまずは1棟を新築し、全体の完成は16年度を予定している。工事では、室内の額縁、鴨居や框等の造作材として、合計21立方メートルの市産木材を活用する予定である。また、こども育成課と連携し、敷地内に放課後児童クラブを設置し、住棟の1階に組み込む計画である。なお、大門小学校の児童が通学する際の集合場所でもあるため、学校と調整し、工事車両の入場時間や誘導員の配置など、児童を始め地域住民にも配慮した安全対策に努めていく。

令和4年度決算審査

予算決算委員会を開催し、4年度決算議案に対する質疑を行いました。詳しい内容や他の質疑については市議会HPで公開している議会映像をご覧ください。

総括質疑

問 過去2番目の規模となった

4年度一般会計の歳入歳出の特徴と総括は。

答 一般会計の歳入決算額は1

523億3812万円で前年度比約30億5800万円の増、歳出決算額は1429億8292万円で前年度比約23億2000万円の増となり、どちらも過去2番目の決算額となった。4年度は3年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を市政における最優先課題と位置付け、感染症対策と経済対策との両輪で、生活者や事業者に対する物価高騰対策にも積極的に取り組んだ。感染症対策では、コロナ患者の外來受診等の医療提供体制を整備するとともに、健康フォローアップセンターによる健康相談等の支援を総合的に行

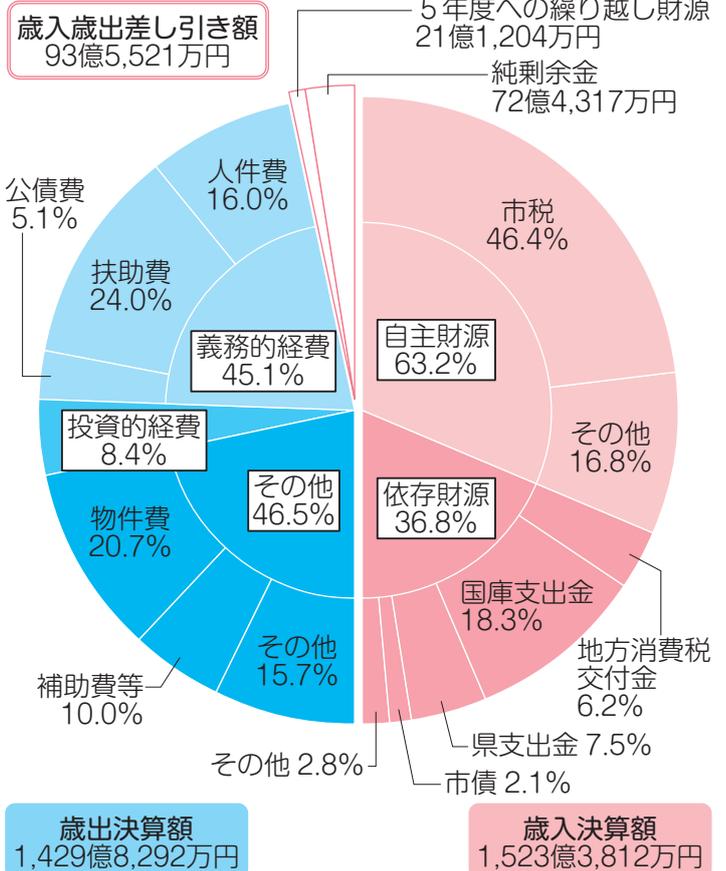
う体制を整備したほか、小中学校等のトイレの洋式化及び手洗いを非接触型自動水栓へ更新した。一方、主要事業としては、阿知和地区工業団地と一体で実施するスマートインターチェンジの整備、市南部の拠点として个性的で魅力あふれるまちづくりを進めていく岡崎駅東地区整備、幸田町と共同で整備した消防指令システムの改修、ゼロカーボン社会の実現に向けた様々な新事業を実施した。加えて、大河ドラマを契機に地域活性化や市の魅力を発信するため、岡崎城や家康館を整備したほか、「どうする家康」活用推進業務、新生児の健やかな成長を支援するすくすく赤ちゃん特別支援金の支給など、限りある予算の中で市民生活を支える基本施策の充実を図りつつ、社会環境にも的確に対応することができたと考えている。

企業会計

単位：万円

	収入決算額	支出決算額
病院事業	297億9,587	280億6,061
収益的	282億8,532	253億2,751
資本的	15億1,055	27億3,309
水道事業	108億2,069	129億8,771
収益的	81億6,060	70億5,242
資本的	26億6,009	59億3,529
下水道事業	166億6,579	200億794
収益的	92億9,699	85億8,611
資本的	73億6,880	114億2,183
合計	572億8,235	610億5,626

一般会計



※数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、差し引きが一致しない場合があります。

予算決算委員会
総務企画分科会

総務費

問 「劇場型」城下町滞在体験コンテンツ造成業務の概要と評価は。

答 本市の歴史や文化に詳しい語り人との町歩き、八丁味噌や和ろうそくなど、本市が誇る匠への弟子入り体験、本市の食資源を味わう城下町ガストロノミーなど、五感で楽しめるストーリー性のある1泊2日の城下町体験ツアーを造成し、令和4年11月から5年1月にかけて計4回のモニターツアーを実施した。県内外の人に、これまで知られていなかった魅力を伝える良い機会となったことに加え、この業務を通じて、市内の各事業者や団体等からも積極的なアイデアをもらい、その結果として、本市ならではのストーリーを作り上げたことにより、今後、観光事業を展開していくに当たっての貴重な情報を得ることができた。

予算決算委員会
福祉病院分科会

民生費

問 災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成について、実施体制、取り組み内容と成果は。

答 4年度は、多様な主体の参画による地域づくりを推進するふくし相談課に「つながり支援係」を新設し、地域づくりと計画作成を一体的に進めることができた。具体的には、モデル地区として応募のあった12地区や、重症心身障がい児の団体へ職員が個別に支援を行い、353件の計画を作成することができた。また、計画作成に向けたワークショップを開催することで、作成に関わる町総代や民生委員、学区福祉委員、福祉専門職の人たちとともに、大規模災害の体験談から対応を疑似体験し、災害時の高齢者や障がい者等への安全な避難支援について、事前に実施すべき対策等を学ぶことができたと考えている。

予算決算委員会
文教経済分科会

商工費

問 ふるさと納税活用業務について、ふるさと納税の寄附が増えた理由と新たな取り組みは。

答 既に登録している事業者が登録する事業者の増加により、返礼品の数が倍増したこと、フォーラムエイト・ラリージャパン2022の観戦チケットをふるさと納税で取り扱い、人気商品となったことで、寄附が増加したと考えている。また、寄附の増加に向けて、大河ドラマ関連の返礼品を登録してもらえるよう勧奨に努めるとともに、大河ドラマ・ガイドや、東海オンエアの特集号である「るるぶ東海オンエア」への広告、家具やインテリアに関心のある女性をターゲットにしたインスタグラムでの広告を行い、効果的にPRした。更に、転出者に対してふるさと納税をPRするチラシの配付を始めた。

予算決算委員会
建設環境分科会

衛生費

問 省エネ家電製品設置費補助業務の効果は。

答 最新の省エネ家電に買い替えをした場合、年間消費電力量は、冷蔵庫では約46%、エアコンでは約10%の削減効果があるとされている。これを家電1台当たりの二酸化炭素排出量に換算すると、冷蔵庫で年間108キログラム、エアコンで年間43キログラムの削減となる。今回の補助対象となった冷蔵庫1934台、エアコン2804台をこの算式に当てはめて算定すると、冷蔵庫約209ト、エアコン約121ト、合計年間約330トの削減効果があると推計している。これは、一般家庭の約120世帯が1年間に排出する二酸化炭素を削減した計算となる。また、本補助金が、市民の家電製品の買い替えの後押しとなり、市内経済の活性化にも寄与することができたと考えている。

本会議において各委員会審査の委員長報告を受け、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

一般会計補正予算

自民清風会

「市中心部の渋滞を緩和するため、将来的に中央総合公園など少し離れた場所からのパークアンドライドでの活用や、地域内交通への活用を検討するため、送迎バスの自動運転の実証実験を実施する。乗客が楽しめるよう車内で限定映像を流すことや限定ポスターを掲示するなど、思わずパークアンドライドを利用したくなる仕掛けを期待している。また、待機児童問題として、入所できる保育施設がないために、職場復帰を目指す保護者が、育休明けの予定を延期せざるを得ない状況がある。女性の社会進出を促進するには、保育施設の整備は絶対に必要であり、子育て世代が安心して社会で活躍できるように、今回の小規模保育事業

所への支援を皮切りに、全市的に同問題が解消されることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

民政クラブ

「2050年のゼロカーボンシナイ実現に向けて、家庭部門の二酸化炭素排出量を削減するため、家庭用蛍光灯など既存照明器具からLED照明器具への買い替え費用の一部を補助する。適切なLED化を推進するため、市内の家電量販店やホームセンターと協力して、周知や啓発を図るとともに、申請期間が短期間となるため、市民に対してより丁寧な説明と広報をお願いする。また、世界ラリー選手権の開催が間近になり、盛り上げを見せたい。中央総合公園の岡崎SS^{*}や山間部の額田SSでの安全対策は十分に行われている。観客がより白熱したラリーを体感し、安全に楽しめるラリーイベントが開催されることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

チャレンジ岡崎

「障がい者タクシー利用助成事業は、令和4年4月から6月までの

助成額と比較して平均1.5倍、最大1.8倍の利用実績があった。外出することは精神的にも肉体的にもメリットが大きいため、対象者が積極的に外出でき、利用しやすい環境を引き続き構築されることを期待する。また、自転車乗車用ヘルメットの購入補助について、対象年齢の拡大に加えて、申請の締め切りも年度末までに延長される。多くの人に必要性を知ってもらい、自転車乗車時の頭部のけがや死亡事故の減少につながることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

「今年の家康行列では、会場周辺に大勢の来場者が訪れることが予想される。多くの人が雰囲気を楽しめるよう、沿道周辺の公園等に大型モニターや飲食コーナーなどを設置したサテライト会場を初めて設置するが、安全対策等に万全を期すようお願いする。また、近年、短期的で局地的な大雨が多発し、浸水被害も甚大化する傾向にある。河川監視カメラなど今回の設置箇所以外の地域に必要な箇所

を再点検する必要がある。災害が発生する前に対応するようお願いする」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党岡崎市議団

「小規模保育を公募し、三つの民間事業所を選考したが、保育の現場に企業を参入させるべきではない。待機児童の解消に向けて、努力をしていることは理解するが、公立保育園の拡大や、保育士の処遇改善で乗り切るべきである。また、子どもたちの学校給食をPF事業により民間委託することは、事業の透明性、公共の責任、食の安全の立場からするべきではない」と意見を述べ、反対した。

無所属・大原昌幸

「全市民に地元農産物を購入できる1500円分の農業応援チケットを配付することで、6月の台風2号による農作物への被害対策、家畜飼料、燃料などの物価高騰による農家への影響の緩和や、市民の生活支援にもつながることに期待し、個人の努力では対応できない課題への緩和策の一つになる」と意見を述べ、賛成した。

※SS：スペシャルステージの略称

審議結果 9月定例会

件名			採決等の結果	件名			採決等の結果								
市長提出議案				議員提出議案											
認1	令和4年度一般・特別会計の決算の認定		認定(多数)	市76	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)		可決(多数)								
認2	令和4年度病院事業会計の決算の認定		認定(全員)	市77	令和5年度こども発達医療センター特別会計補正予算(第1号)		可決(全員)								
認3	令和4年度水道事業会計の利益の処分及び決算の認定		可決・認定(多数)	市78	令和5年度病院事業会計補正予算(第1号)		可決(多数)								
認4	令和4年度下水道事業会計の利益の処分及び決算の認定			市79	令和5年度一般会計補正予算(第6号)		可決(全員)								
市61	工事請負の契約((仮称)市営大樹寺住宅新築給排水衛生ガス設備工事(第1工区))		市80	物品の取得の変更(救助工作車)											
市62	工事請負の契約((仮称)市営大樹寺住宅新築工事(第1工区))		市81	令和5年度一般会計補正予算(第7号)											
市63	工事請負の契約((仮称)市営大樹寺住宅新築電気設備工事(第1工区))		市82	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)											
市64	特定事業の契約の変更((仮称)西部学校給食センター整備事業)		可決(多数)	同4	固定資産評価審査委員会の委員の選任		同意(全員)								
市65	工事請負の契約(甲山中学校南棟大規模改修工事)		可決(全員)	同5	教育委員会の委員の任命										
市66	工事請負の契約(大樹寺小学校中棟大規模改修工事)			同6	公平委員会の委員の選任										
市67	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正			議員提出議案											
市68	印鑑登録条例の一部改正			議2	市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正		可決(全員)								
市69	保健所の設置等に関する条例及び旅館業の施設の衛生措置及び構造設備の基準等に関する条例の一部改正		議3	市議会会議規則の一部改正											
市70	公衆浴場における衛生措置等の基準に関する条例の一部改正		議4	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出											
市71	わんパーク条例の一部改正		可決(多数)	請願											
市72	火災予防条例の一部改正			請3	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出		採択(全員)								
市73	令和5年度一般会計補正予算(第5号)			※採決等の結果が分かれたものの詳細は、議案の賛否一覧表をご覧ください。											
市74	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)			<table border="1"><thead><tr><th colspan="3">件名</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="3">陳情</td></tr><tr><td>陳14</td><td colspan="2">私立高校生の保護者の授業料負担の公私格差を是正するために岡崎市授業料補助金制度の充実を求めること</td></tr></tbody></table>				件名			陳情			陳14	私立高校生の保護者の授業料負担の公私格差を是正するために岡崎市授業料補助金制度の充実を求めること
件名															
陳情															
陳14	私立高校生の保護者の授業料負担の公私格差を是正するために岡崎市授業料補助金制度の充実を求めること														
市75	令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決(全員)	※陳情は、市長等の関係機関へ意見を付して送付しています。											

議案の賛否一覧表

賛成・反対の両方があった議案について表示しています。(○:賛成、×:反対)

議案	自民清風会													民政クラブ					チャレンジ岡崎		公明党		無・共	無所属			議	副												
	磯部亮次	小木智洋	荻野秀範	加藤義幸	酒井正一	鈴木静男	中根武彦	野々山雄一郎	野本篤	蜂須賀喜久好	原範次	廣重敦	前田麗子	築瀨太	井町圭孝	井村伸幸	加藤嘉哉	加藤哲朗	柴田敏光	原紀彦	三宅健司	青山晃子	小田高之	近藤敏浩	杉山智騎	土谷直樹			野島さつき	畑尻宣長	鈴木雅子	中根善明	大原昌幸	田口正夫	三塩菜摘	柳賢一	杉浦久直	鈴木英樹		
認1、3、4 市64、68、73、 74、76、78	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※会派の名称：議＝議長、副＝副議長、無・共＝無所属・日本共産党
※議長は議決に加わらないため「-」と表示しています。

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

全ての子どもたちに行き届いた教育を行うためにも、少人数学級の更なる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠であり、また、子どもたちが全国で均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であることから、政府に対し、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、十分な教育予算を確保するよう強く要望する。

◎提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

12月定例会予定

12月定例会の
 請願・陳情提出締め切りは、

11月16日(木)

です。

月	火	水	木	金	土	日
11/27	28	29	30	12/1 開会、市長提案説明、議案説明、一般質問	2	3
4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7 議案質疑、委員会付託 予算決算委員会	8 議案検討	9	10
11 議案検討	12	13 予算決算委員会 各分科会・常任委員会	14 予算決算委員会 各分科会・常任委員会	15	16	17
18	19 予算決算委員会	20 議会運営委員会	21	22 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	23	24

○各会議の開催時刻は午前10時の予定ですが、予算決算委員会分科会・常任委員会の開催時刻は午前9時30分の予定（開催順序などは11月20日に決定）です。

12月定例会の日程について

上記の議会日程は予定であり、今後変更する場合があります。変更する場合は、岡崎市議会ホームページでお知らせいたします。

議会中継について

議会中継は、右の二次元コードからインターネットでご視聴いただけます。



会派等の連絡先 ☎

自 民 清 風 会	☎23-6390	
民 政 ク ラ ブ	☎23-6394	
チ ャ レ ン ジ 岡 崎	☎23-6364	
公 明 党	☎23-6396	
無所属	日 本 共 産 党	☎23-6397
	無 所 属	☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377	

議会の日程、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問い合わせください。